



区画貫通部 防火措置キット

取扱説明書

耐火シート冷媒管用

△「安全上のご注意」（必ずお読みください）

- 本紙および国土交通大臣認定書をよくお読みのうえ正しく施工してください。
- 充てん材の埋め戻しは確実に行ってください。
- 製品を取り扱う際には保護具を着用し角部や端部に注意してください。
- 直接水のかかるところや高温多湿の環境下、紫外線のあたる屋外で使用しないでください。
- 国土交通大臣認定どおりに正しく施工されたことを表示するため、貫通物や開口部周囲の見やすい場所に工法表示ラベルを貼り付けてください。
- 余った製品は梱包箱に入れて保管してください。保管する際は、耐火シートが梱包箱に貼り付かないように保護してください。

製品仕様

品番	構成材料	
JS40125	① 耐火シート (幅150×長さ1200×厚さ4.5mm)	1巻
	② アルミテープ	1枚
	③ 工法表示ラベル	6枚
	④ 取扱説明書(本書)	1枚

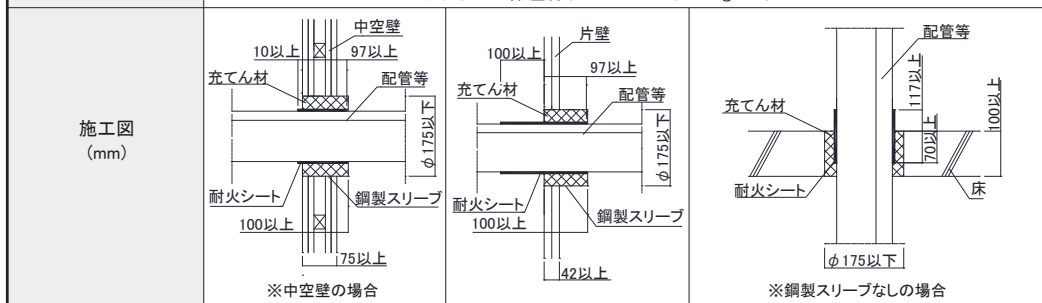
構成材料



◎国土交通大臣認定書、施工要領書、仕様書およびカタログが弊社ホームページからダウンロードできます。本取扱説明書に記載の無い認定条件や適用配管等についてご確認ください。

適用範囲

国土交通大臣認定番号	PS060WL-1224	PS060WL-1225-1	PS060FL-1251
適用箇所	RC・ALC・中空壁 厚さ 75mm以上	片壁 厚さ 42mm以上	RC・ALC 厚さ 100mm以上
開口部・形状	円形 φ175mm以下	円形 φ175mm以下	鋼製スリーブなしの場合: 円形 φ175mm以下 鋼製スリーブありの場合: 円形 φ300mm以下
占積率	43.4%以下	43.4%以下	42.9%以下
鋼製スリーブ	中空壁又は中空壁以外の壁で 壁厚100mm未満の場合に使用。 長さ100mm以上、板厚0.25mm以上	長さ100mm以上、板厚0.25mm以上	あり又はなし 床上長さ100mm以下、板厚0.4mm以上
耐火シート	長さ: 配管外周1周巻き以上 幅: 107mm以上 (壁内部に97mm以上)	長さ: 配管外周1周巻き以上 幅: 197mm以上 (壁内部に97mm以上)	長さ: 配管外周1周巻き以上 幅: 117mm以上 (床内部に70mm以上埋め込み)
充てん材	ロックウール保温材(JIS A 9504) 60kg/m³以上		



ロックウール充てん量の目安

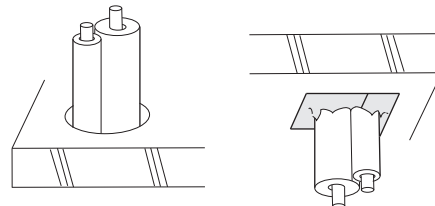
開口径 (mm)	φ50	φ80	φ110	φ135	φ160	φ175
壁・床厚 (mm)						
～100	20 g	40 g	70 g	100 g	130 g	160 g
100～200	30 g	70 g	130 g	190 g	250 g	300 g
200～300	50 g	100 g	180 g	270 g	370 g	450 g

開口部の隙間が無くなるまで左記以上のロックウールを充てんしてください。
ロックウールは JIS A 9504 の適合品 60kg/m³ 以上をご使用ください。

床（ALC・コンクリート）施工手順

① 開口部の確認

国土交通大臣認定書や本紙で床の構造、開口サイズ、ケーブル・配管サイズ、占積率等の適用範囲を確認してください。

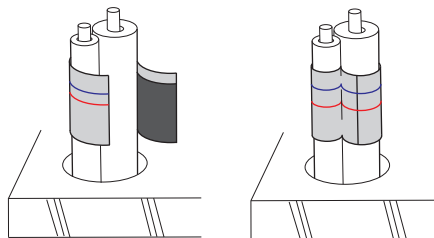


必要に応じて

受け板や化粧板としてアルミニウム箔張ポリエチレンフォーム又はアルミテープを床面に設置することが出来ます。板の設置は任意施工になり、必須ではありません。

② 耐火シートの巻き付け

配管やケーブルに耐火シートを1周以上巻き付けます。耐火シートは配管やケーブルに複数管まとめて巻き付けることが出来ます。

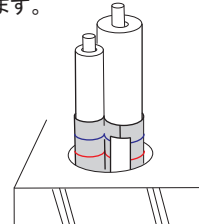


③ テープの貼り付け

耐火シートの繋ぎ目または被り代にアルミテープを貼り付けます。アルミテープが足りなくなった場合は他のテープで代用してください。

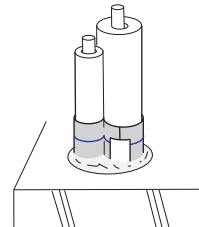
④ 耐火シート設置

耐火シートをスライドさせて赤ラインを床面に合わせます。



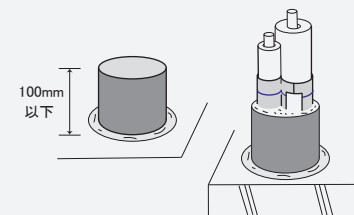
⑤ 埋め戻し

赤ラインが見えなくなるまで開口部にロックウール(60kg/m³以上)を密に充てんして完了です。



鋼製スリーブが床上面に突き出す場合

鋼製スリーブ(金属板、スパイラルダクト)を床に設置する場合は外径φ175mm以下、板厚0.4mm以上、床上長さ100mm以下としてください。



鋼製スリーブは次のように設置してください。

① 鋼製スリーブ後付け施工の場合

ALC パネル又は鉄筋コンクリート造等の床にボイド又はコアドリル等を使用して開口を設け、鋼製スリーブをセメントモルタルで埋め戻してください。

② 鋼製スリーブ先付け施工の場合

鉄筋コンクリート造等の床の場合に、鋼製スリーブを鉄筋又は型枠等に固定し、コンクリートを打設してください。

技術事項のご相談・お問い合わせは

古河電工パワーシステムズ

防災事業部

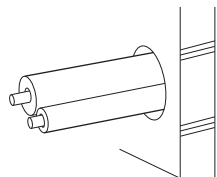
TEL : (0463)24-9341 FAX : (0463)24-9346

URL : <https://www.feps.co.jp>

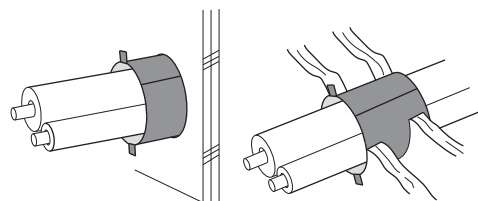
中空壁・壁（ALC・コンクリート）施工手順

1 開口部の確認

国土交通大臣認定書や本紙で壁の構造、開口サイズ、ケーブル・配管サイズ、占積率等の適用範囲を確認してください。

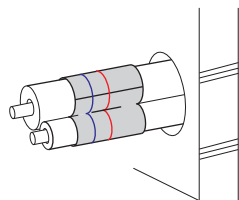
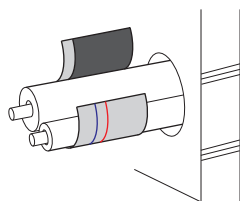


中空壁の場合、又は中空壁以外の壁で壁厚が100mm 以下の場合は板厚 0.25mm 以上の鋼製スリーブ（金属板）を開口に設置してください。別売品「ラクスリーブ」や「イチジカン・丸穴スリーブ」を取りそろえております。



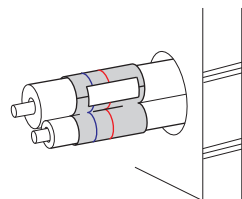
2 耐火シートの巻き付け

配管やケーブルに耐火シートを1周以上巻き付けます。耐火シートは配管やケーブルに複数管まとめて巻き付けることができます。



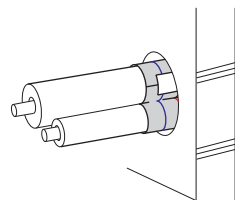
3 テープの貼り付け

耐火シートの繋ぎ目または被り代にアルミテープを貼り付けます。アルミテープが足りなくなった場合は他のテープで代用してください。



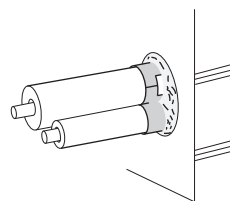
4 耐火シート設置

耐火シートをスライドさせて青ラインを壁面に合わせます。



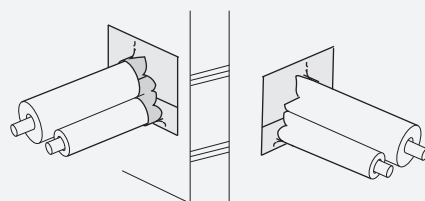
5 埋め戻し

青ラインが見えなくなるまで開口部にロックウール（60kg/m³ 以上）を密に充て込んで完了です。



必要に応じて

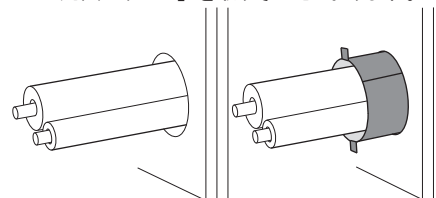
受け板や化粧板としてアルミニウム箔張ポリエチレンフォーム又はアルミテープを壁面に設置することができます。板の設置は任意施工になり、必須ではありません。



片壁 施工手順

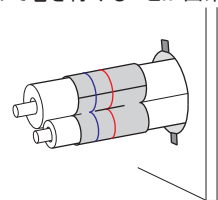
1 開口部の確認

国土交通大臣認定書や本紙で片壁の構造、開口サイズ、ケーブル・配管サイズ、占積率等の適用範囲を確認してください。板厚 0.25mm 以上の鋼製スリーブ（金属板）を開口に設置してください。別売品「ラクスリーブ」や「イチジカン・丸穴スリーブ」を取りそろえております。



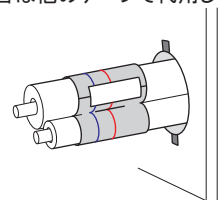
2 耐火シートの巻き付け

配管やケーブルに耐火シートを1周以上巻き付けます。耐火シートは配管やケーブルに複数管まとめて巻き付けることができます。



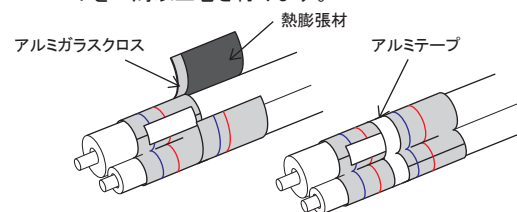
3 テープの貼り付け

耐火シートの繋ぎ目または被り代にアルミテープを貼り付けます。アルミテープが足りなくなった場合は他のテープで代用してください。



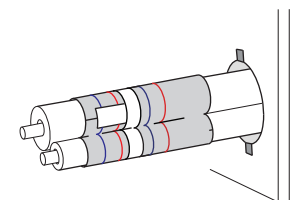
4 耐火シートの連結・巻き付け

片壁に適用する場合のみ耐火シートが2枚必要になります。初めに巻き付けた耐火シートと熱膨張材の端部が接するように（アルミガラスクロス部のみが被るように）配管やケーブルに耐火シートを1周以上巻き付けます。



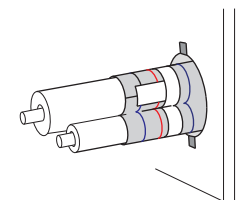
5 テープの貼り付け

耐火シートの繋ぎ目または被り代にアルミテープを貼り付けます。2枚の耐火シートが外れないようにしっかりと固定してください。



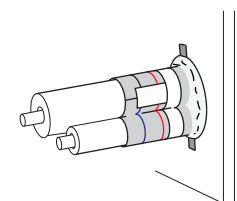
6 耐火シート設置

耐火シートをスライドさせて壁面側の青ラインを壁面に合わせます。



7 埋め戻し

壁面側の青ラインが見えなくなるまで開口部にロックウール（60kg/m³ 以上）を密に充て込んで完了です。



必要に応じて

受け板や化粧板としてアルミニウム箔張ポリエチレンフォーム又はアルミテープを壁面に設置することができます。板の設置は任意施工になり、必須ではありません。

